2021 年度下半期進捗報告書（実行団体）

● 提　出　日　：　2022 年 9 月 30 日
● 事　業　名　：　保見に新しい風を！
● 資金分配団体　：　一般財団法人中部圏地域創造ファンド
● 実 行 団 体　：　保見プロジェクト
● 新型コロナウイルス対応緊急支援助成（通常枠での追加助成）の有無　：　☐有　☑無

① 実績値　（実績値の対象は、基本は 2021 年 9 月～2022 年 3 月末。中間報告時に 9 月を入れている場合は 10 月からでも結構です）

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況 （実施した活動内容も5W1H や、参加人数等もわかるように書いてください＝別紙一覧でも可）	進捗状況＊
1　中京大学の学生が保見プロジェクトに取り組み保見団地の美化と居住者の交流に貢献する	保見プロジェクトに主体的にかかわる学生数	10 名	2023 年 3 月	毎月第 1 日曜日の朝に県営保見自治区が実施している一斉清掃や 2 週間に 1 度の粗大ごみ回収等に学生が参加し、自治区役員及び居住者と交流を重ねている。さらに、毎週日曜日と水曜日の夕方に、日本語とポルトガル語とスペイン語で、翌日の燃えるごみの収集に関する注意事項（8 時 30 分までに出す、分別するなど）を放送している。子ども食堂等に関わる学生も含めれば、主体的に関わる学生は、10 名を優に超えている。	1
2　子どもたちの交流と学習支援の場を兼ねた子ども食堂を、年に 50 回開催する。翌年度以降も継続できる体制を構築する。	子ども食堂の利用者数 子ども食堂の回数	20 名 50 回／年	2023 年 3 月	2020 年 10 月から子ども食堂を毎週金曜日の朝に開催している。コロナ感染予防のため、フードパントリーの期間が続いており、用意する食材も 10 名分にとどめている。が、開始後すぐにすべてなくなることもある。毎週続けているので、年 50 回の目標値はクリアできる。 学習に関しては、2021 年 4 月と 5 月のチーム会議での協議を経て、JUNTOS という学生の自主団体が立ち上がり、土曜日の午前中に学習支援活動をしている。 昨年 12 月には JUNTOS 独自の子ども食堂を開催し、また本年 6 月 4 日のスポーツフェスティバルの際には、ケアセンターほみの方々が昼食を用意してくれた。JUNTOS は、5 月から土曜日の午後に、宿題の手伝いや日本語の勉強をするぐんぐんクラスも開催している。これには、子どももおとなも参加している。 JUNTOS のスタッフには、愛知県立大学や愛知淑徳大学など、他大学の学生たちも参加しており、卒業後もスタッフとして活動し続ける人が多いので、2023 年 4 月以降も活動を継続できる。	1

3　多様な方々との交流を兼ねた高齢者向け食事会を、年に12回開催する。翌年度以降も継続できる体制を構築する。	高齢者向け食事会と生活支援の利用者数	20名	2023年3月	「高齢者サロン」を実施している。緊急事態宣言発出により、予定していた高齢者サロンを中止しなければならなかったことが多いのが残念である。 7月2日には、JUNTOSの子どもたちが、県営保見自治区の老人会（＝けやき会）と七夕飾りを作成し、集会所前に飾った。10月にも子どもたちとけやき会との交流の回を開催する予定である。 手伝ってほしいことがある方が、電話で依頼し、学生が対応する「高齢者お手伝い」の利用者が多い。特に、ワクチン接種予約の時期は、日本語が充分にできない方や、スマホが使いこなせない方からの依頼が多かった。ゴミ出しなどで、定期的に利用してくださる方もいる。ケアセンターほみや福祉イノベーションラボのような団体との連携も生まれており、翌年度以降も事業を継続できる。	1
4　中京大学の学生が保見団地でのフィールドワークに積極的に参加し、事業成果の測定にもとづいて事業計画を見直す	フィールドワークを実施する学生数	80名（年間延べ人数）	2023年3月	上記の事業の他、自治区による敬老の日の記念品配布の手伝い、トルシーダによる各種事業の手伝い等で、フィールド経験を積み重ねてきた。 これまでのところ4人の方にライフヒストリーを語っていただいた。ひとりひとりの生き方を教えていただき、胸に刻んでいくのは、フィールドワークの基本であり、保見団地の歴史やお住まいの方々の共通点・相違点を知る上でも重要である。 学生数の目標値は優に超えている。データとしてまとめるところまでにとどまっているが、現在チームが取り組んでいる将来ビジョン作成には有益なものも含まれている。 「測定」と「計画見直し」を一方的に実施するより、住民アンケートの概要版等を使って、おとしよりや子どもたちと語り合い、望ましい保見団地に近づくプロセスを共に考える、という方がいいかもしれない。 中京大学の授業としては、例年通り通年の「演習」と秋学期の「国際理解教育Ⅱ」や「グローバル市民論」で保見団地を取り上げている。今年度の「グローバル市民論」では、履修者に「学生が保見に関わり続ける仕組みづくり」をテーマのひとつとした。 4年次の演習では、「保見団地」に関するこれまでのすべての新聞記事（中日411件、日経42件、朝日106件、読売56件）のキーワード付きエクセル表を作成し、分析を進めている。 多くの方のご協力により、9月1日に、県営保見団地の2戸の使用許可を得ることができた。同じ棟にお住いの方々との交流を深めることから始め、将来的には、保見団地にお住まいの方々の交流の場となるよう準備を進めている。	1

＊進捗状況：1計画より進んでいる 、2 計画どおり進んでいる 、3計画より遅れている、4その他

②事業進捗に関する報告（以下、すべて）

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
1.達成の見込み
2.アウトカムの状況
A：変更項目 ☑変更なし　☐短期アウトカムの内容　☐短期アウトカムの表現　☐短期アウトカムの指標　☐アウトカムの目標値
3. 活動に関する報告
『保見プロジェクト（中京大学）活動報告書　2021 年度』
6. 新型コロナウイルス感染拡大に対して、事業活動を行う際に工夫した点
子ども食堂のフードパントリーの場所をオープンスペースに移動した。土曜日の子ども食堂の会場であるケアセンターほみが、定期的にスタッフの PCR 検査を実施している。

③広報に関する報告

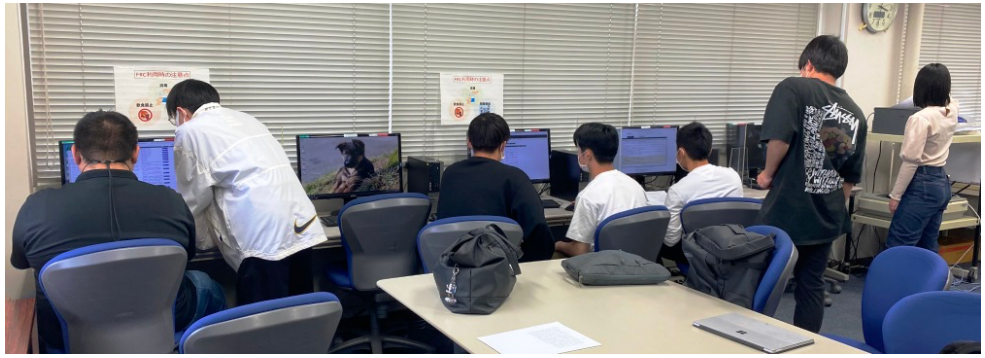
1.　シンボルマークの使用状況
☐自団体のウェブサイトで表示している　☑広報制作物に表示している ☐報告書に表示している　☐イベント実施時に表示している　☐その他 →「その他」を選択した場合は記載してください（自由記述）：
2.　広報
1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等） 220513 中日「保見団地、アート」（トルシーダ主催のイベント）、220717 朝日「一票がない私たちが願うこと」（チームメンバーの小田ビニシウスを紹介） 2.広報制作物等 ごみの分別に関する動画とチラシ 3.報告書等 『保見プロジェクト（中京大学）活動報告書　2021 年度』 4.イベント開催等（シンポジウム、フォーラム等）

添付資料

活動の写真（画像データは 1 枚 2 MG 以下、3～4 枚程度）

04 月 03 日　ゴミ出し放送

05 月 17 日　4 年次演習　保見団地に関する新聞記事の検索とエクセル表作成



06 月 04 日　JUNTOS のスポーツフェスティバルの際に、
ケアセンターほみの方々が昼食をふるまってくださった

06 月 17 日　毎週金曜日朝の子ども食堂（フードパントリー）
月に 1 度は、愛知淑徳大学 CCC の職員と学生がお米などを持ってきてくださる